

### 3. 関連データ

1. 平成10年度研究テーマ

(1) 総数

201件（うち、43件は平成10年度に新規に採択したもの）

(2) 研究領域別内訳

戦略目標	研究領域	研究テーマ数
大きな可能性を秘めた 未知領域への挑戦	生命活動のプログラム	23
	生体防御のメカニズム	20
	量子効果等の物理現象	19
	単一分子・原子レベルの反応制御	19
	極限環境状態における現象	21
分子レベルの新機能発現を 通じた技術革新	電子・光子等の機能制御	5
	分子複合系の構築と機能	5
	ゲノムの構造と機能	5
脳機能の解明	脳を知る	23
	脳を守る	10
	脳を創る	9
環境にやさしい社会の実現	環境低負荷型の社会システム	21
	地球変動のメカニズム	9
	内分泌かく乱物質	7
資源循環・エネルギーミニ マム型社会システムの構築	資源循環・エネルギーミニマム型 システム技術	5

(3) 研究代表者の所属別件数

機関名	人数
大学	159
うち（国立）	142
（公立）	3
（私立）	14
国立試験研究機関	26
特殊法人	9
公益法人等	5
民間企業	5
合計	204

注) 研究代表者総数201名と合計が一致しないのは1人の研究代表者が複数の研究機関に所属しているケースがあるため。

## 2. 平成10年度の新規研究テーマ募集・採択の状況

### (1) 日程

- ①募集期間 4月～6月  
但し「内分泌かく乱物質」は9月～10月
- ②書類選考 7月～8月  
但し「内分泌かく乱物質」は11月
- ③面接選考 7月～8月  
但し「内分泌かく乱物質」は12月
- ④新規採択テーマの発表  
9月17日  
但し「内分泌かく乱物質」は12月25日

### (2) 募集対象研究領域

- 戦略目標「分子レベルの新機能発現を通じた技術革新」のもとの研究領域
  - 「電子・光子等の機能制御」
  - 「分子複合系の構築と機能」
  - 「ゲノムの構造と機能」
- 戦略目標「脳機能の解明」のもとの研究領域
  - 「脳を知る」
  - 「脳を守る」
  - 「脳を創る」
- 戦略目標「環境にやさしい社会の実現」のもとの研究領域
  - 「地球変動のメカニズム」
  - 「内分泌かく乱物質」
- 戦略目標「資源循環・エネルギーミニマム型社会システムの構築」のもとの研究領域
  - 「資源循環・エネルギーミニマム型システム技術」

### (3) 応募数・採択数（研究領域別）

研究領域名	応募件数	採択件数
電子・光子等の機能制御	116	5
分子複合系の構築と機能	104	5
ゲノムの構造と機能	108	5
脳を知る	78	4
脳を守る	66	4
脳を創る	41	4
地球変動のメカニズム	46	4
内分泌かく乱物質	196	7
資源循環・エネルギーミニマム型システム技術	128	5
合計	883	43

(4) 応募数・採択数 (研究代表者所属機関別)

機関名	応募数	採択数
大学	672	31
うち (国立)	505	27
(公立)	37	0
(私立)	130	4
国立試験研究機関	86	4
公立試験研究機関	8	0
特殊法人	10	2
公益法人等	41	1
民間企業	66	5
合計	883	43

3. 平成10年度研究統括および領域アドバイザー一覧

(1) 戦略目標「大きな可能性を秘めた未知領域への挑戦」

①研究領域「生命活動のプログラム」

氏名	所属
[研究統括]	
村松 正實	埼玉医科大学 医学部教授
[領域アドバイザー]	
大石 道夫	(財) かずさDNA研究所 所長
上代 淑人	東京工業大学 生命理工学部 客員教授
京極 好正	大阪大学 蛋白質研究所 所長
高浪 満	(財) かずさDNA研究所 特別顧問
野々村 禎昭	帝京大学 医学部 教授
松原 謙一	奈良先端科学技術大学院大学 教授
水野 丈夫	東京大学 名誉教授
森 正敬	熊本大学 医学部分子遺伝学講座 教授

②研究領域「生体防御のメカニズム」

氏名	所属
[研究統括]	
橋本 嘉幸	(財) 佐々木研究所 所長
[領域アドバイザー]	
伊東 信行	名古屋市立大学 学長
宇井 理生	東京都臨床医学総合研究所 所長
小川 智也	理化学研究所 理事
岸本 忠三	大阪大学 総長
京極 方久	明治鍼灸大学大学院 教授
水谷 純也	北海道大学 名誉教授、(社) 植物情報物質研究センター 理事長

③研究領域「量子効果等の物理現象」

氏名	所属
[研究統括]	
川路 紳治	学習院大学 理学部 教授
[領域アドバイザー]	
池上 徹彦	NTTアドバンス・テクノロジ - 代表取締役社長
川畑 有郷	学習院大学 理学部 教授
小林 俊一	東京大学 理学部 教授
榊 裕之	東京大学 生産技術研究所 教授
寺倉 清之	工業技術院 産業技術融合領域研究所 首席研究官
花村 榮一	東京大学 工学部 教授
渡辺 久恒	NEC 中央研究所 研究開発グループ 支配人

④研究領域「単一分子・原子レベルの反応制御」

氏名	所属
[研究統括]	
山本 明夫	早稲田大学 理工学部 客員教授
[領域アドバイザー]	
井上 祥平	東京理科大学 工学部 教授
大石 武	明治薬科大学 学長
大西 孝治	高度職業能力開発促進センター 所長
大野 雅二	(株)ジェノックス創薬研究所 常務取締役 研究所長
吉良 爽	理化学研究所 理事
斎藤 安俊	学位授与機構 教授
徳丸 克己	筑波大学 名誉教授
笛野 高之	大阪大学 名誉教授

⑤研究領域「極限環境状態における現象」

氏名	所属
[研究統括]	
立木 昌	科学技術庁 金属材料技術研究所 客員研究官
[領域アドバイザー]	
浅井彰二郎	(株)日立製作所 研究開発推進本部 理事 本部長
鈴木 智雄	宇都宮大学 農学部 教授
坂東 尚周	京都大学 名誉教授
藤田 敏三	広島大学 理学部 教授
前田 弘	東北大学 金属材料研究所 教授
山岡 信夫	科学技術庁 無機材質研究所 超高压ステーション 特別研究官

(2) 戦略目標「分子レベルの新機能発現を通じた技術革新」

①研究領域「電子・光子等の機能制御」

氏名	所属
[研究統括]	
菅野 卓雄	東洋大学 学長
[領域アドバイザー]	
青野 正和	大阪大学 工学部教授、理化学研究所 表面界面工学研究室主任研究員
伊藤 良一	東京大学 大学院工学研究科 教授
池上 徹彦	NTTアドバンストテクノロジー 代表取締役社長
川辺 光央	筑波大学 物質工学系 教授
後藤 俊夫	名古屋大学 大学院工学研究科 教授
坂本 統徳	工技院 電子技術総合研究所 電子デバイス部 部長
堀越 佳治	早稲田大学 理工学部 教授

②研究領域「分子複合系の構築と機能」

氏名	所属
[研究統括]	
櫻井 英樹	東京理科大学 理工学部工業化学科 教授
[領域アドバイザー]	
今木 直	(株)三菱化学 横浜総合研究所
岩村 秀	学位授与機構 教授
木村 茂行	無機材質研究所 所長
国武 豊喜	九州大学 大学院工学研究科物質創造工学専攻 教授
古賀 憲司	奈良先端科学技術大学院大学 物質科学教育研究センター 教授
長谷川正木	桐蔭横浜大学 工学部材料工学科 教授
村井 眞二	大阪大学 大学院工学研究科 教授

③研究領域「ゲノムの構造と機能」

氏名	所属
[研究統括]	
大石 道夫	(財)かずさDNA研究所 所長
[領域アドバイザー]	
磯野 克己	神戸大学 理学部生物学科 教授
岩淵 雅樹	岡山県生物科学総合研究所 所長
大木 操	国立がんセンター研究所 放射線研究部 部長
小原 雄治	国立遺伝学研究所 生物遺伝資源情報総合センター センター長、教授
高浪 満	(財)かずさDNA研究所 特別顧問
中村 祐輔	東京大学 医科学研究所ヒトゲノム解析センター 教授
柳田 充弘	京都大学 大学院理学研究科 教授

(3) 戦略目標「脳機能の解明」

①研究領域「脳を知る」(平成7年度～9年度採択)

氏名	所 属
[研究統括]	
大塚 正徳	日本臓器製薬(株) 生物活性科学研究所名誉所長
[領域アドバイザー]	
川合 述史	自治医科大学 医学科 教授
酒田 英夫	日本大学 医学部 教授
永津 俊治	藤田保健衛生大学 総合医科学研究所 教授
二木 宏明	理化学研究所 脳科学総合研究センター 情動機構研究室チームリーダー
濱 清	岡崎国立共同研究機構 生理学研究所 所長

同(平成10年度以降採択)

氏名	所 属
[研究統括]	
久野 宗	京都大学 名誉教授
[領域アドバイザー]	
金子 章道	慶應義塾大学 医学部 教授
丹治 順	東北大学 医学部 教授
彦坂 興秀	順天堂大学 医学部 教授
御子柴克彦	東京大学 医科学研究所 教授
水野 昇	(財)東京都神経科学総合研究所 所長
村上富士夫	大阪大学 基礎工学部 教授

②研究領域「脳を守る」

氏名	所 属
[研究統括]	
杉田 秀夫	国立精神・神経センター 名誉総長
[領域アドバイザー]	
金澤 一郎	東京大学 医学部附属病院 神経内科 教授
木村 淳	京都大学 名誉教授
高橋 清久	国立精神・神経センター 総長
竹下 研三	鳥取大学 医学部 学部長
立石 潤	老人保健施設・春風 施設長
永津 俊治	藤田保健衛生大学 総合医科学研究所 教授



③研究領域「脳を創る」

氏名	所 属
[研究統括]	
甘利 俊一	理化学研究所 脳科学総合研究センター グループディレクター
[領域アドバイザー]	
川人 光男	(株)イー・ティ・アール 人間情報通信研究所 第三研究室長
鈴木 良次	金沢工業大学 人間情報システム研究所 所長
中野 馨	大阪大学 基礎工学部 教授
杉江 昇	名城大学 理工学部 教授
松本 元	理化学研究所 脳科学総合研究センター 脳型デバイス・ブレインウェイグループ グループディレクター
森 健一	(株)テック 専務取締役

(4) 戦略目標「環境にやさしい社会の実現」

①研究領域「環境低負荷型の社会システム」

氏名	所 属
[研究統括]	
茅 陽一	慶応義塾大学 大学院政策・メディア研究科 教授
[領域アドバイザー]	
明畠 高司	東京理科大学 工学部工業化学科 教授
石井 吉徳	富山国際大学 顧問
内嶋善兵衛	宮崎公立大学 人文学部 教授
上之蘭 博	(財)電力中央研究所 専務理事
松尾 友矩	東京大学 工学部都市工学科 教授

②研究領域「地球変動のメカニズム」

氏名	所 属
[研究統括]	
浅井 富雄	東京大学 名誉教授
[領域アドバイザー]	
片山 恒雄	科学技術庁 防災科学技術研究所 所長
川那部浩哉	滋賀県立琵琶湖博物館 館長
酒井 均	岡山大学 名誉教授
高木 幹雄	東京理科大学 基礎工学部 教授
二宮 洸三	東京大学 気候システム研究センター 客員教授
松野 太郎	地球フロンティア研究システム システム長、地球変動研究所

③研究領域「内分泌かく乱物質」

氏名	所属
[研究統括]	
鈴木 継美	東京大学 名誉教授
[領域アドバイザー]	
井村 伸正	北里大学 薬学部 学部長
紫芝 良昌	虎ノ門病院 分院長
寺尾 允男	国立医薬品食品衛生研究所 所長
松下 秀鶴	静岡県環境衛生科学研究所 顧問
宮本 純之	国際純正応用化学連合 「化学と環境」 部会長
安野 正之	滋賀県立大学 環境科学部 教授

(5) 戦略目標「資源循環・エネルギーミニマム型社会システムの構築」

①研究領域「資源循環・エネルギーミニマム型システム技術」

氏名	所属
[研究統括]	
平田 賢	芝浦工業大学 システム工学部機械制御システム学科 教授
[領域アドバイザー]	
石井 吉徳	富山国際学園 顧問
垣田 行雄	(財)日本システム開発研究所 専務理事
片岡 宏文	東京ガス(株) 最高顧問、東京ガスケミカル
木谷 収	日本大学 生物資源科学部生物環境工学科 教授
清水 誠	日本大学 生物資源科学部海洋生物資源科学科 教授
中上 英俊	(株)住環境計画研究所 所長
平岡 正勝	立命館大学内 エコ・テクノロジー研究センター センター長
三井 恒夫	東京電力(株) 顧問

#### 4. 平成10年度における研究成果の発表

##### (1) 領域シンポジウム開催実績

研究領域	開催日	名称	場所
生命活動のプログラム	平成10年6月4日(木)	平成10年度「生命活動のプログラム」シンポジウム	J Aホール(東京)
極限環境状態における現象	平成10年6月21日(日)～26日(金)	'98 ボルテックスワークショップ	八幡平(岩手)
単一分子・原子レベルの反応制御	平成10年11月20日(金)	研究報告会(無機・物理化学分野)	砂防会館(東京)
脳を知る	平成10年12月10日(木)11日(金)	「脳神経科学の最先端1998」	千里ライフサイエンスセンター(大阪)
単一分子・原子レベルの反応制御	平成10年12月17日(木)18日(金)	研究報告会(有機化学分野)	コクヨホール(東京)
量子効果等の物理現象	平成10年12月21日(月)22日(火)	第2回「量子効果等の物理現象」	J Aホール(東京)
生体防御のメカニズム	平成11年1月22日(金)	CREST シンポジウム「生体防御のメカニズム」	星陵会館(東京)

##### (2) プレス発表した研究成果一覧

○平成10年 6月25日発表

研究領域「極限環境状態における現象」

研究者：清水克哉 大阪大学助手 他

(研究代表者：遠藤将一大阪大学教授)

件名：「固体の酸素に超伝導現象—極低温・超高压下で発見—」

○平成10年 8月20日発表

研究領域「極限環境状態における現象」

研究者：Y. I. Latyshev 東北大学客員助教授 他

(研究代表者：山下努東北大学教授)

件名：「微小単結晶で超伝導単電子トンネル素子を実現」

○平成10年12月17日発表

研究領域「極限環境状態における現象」

研究者：石田憲二 大阪大学助手 他

(研究代表者：石黒武彦京都大学教授)

件名：「スピン・トリプレット超伝導の発見」

○平成11年 1月28日発表

研究領域「極限環境状態における現象」

研究者：外村彰 (株)日立製作所主管研究長 他

(研究代表者：北沢宏一東京大学教授)

件名：「高温超伝導体中の磁束量子の動きを初めてリアルタイムで観察」

○平成11年 3月18日発表

研究領域「生命活動のプログラム」

研究者：辻順 科学技術振興事業団研究員 他

(研究代表者：松本邦弘名古屋大学教授)

件名：「炎症を引き起こす細胞内情報伝達系で重要な働きをするリン酸化酵素を同定」

#### 5. 事業認可予算の推移

平成 7年度	5 1 億円
平成 8年度	1 2 8 億円
平成 9年度	2 1 5 億円
平成10年度	2 4 7 億円
平成11年度	2 6 1 億円